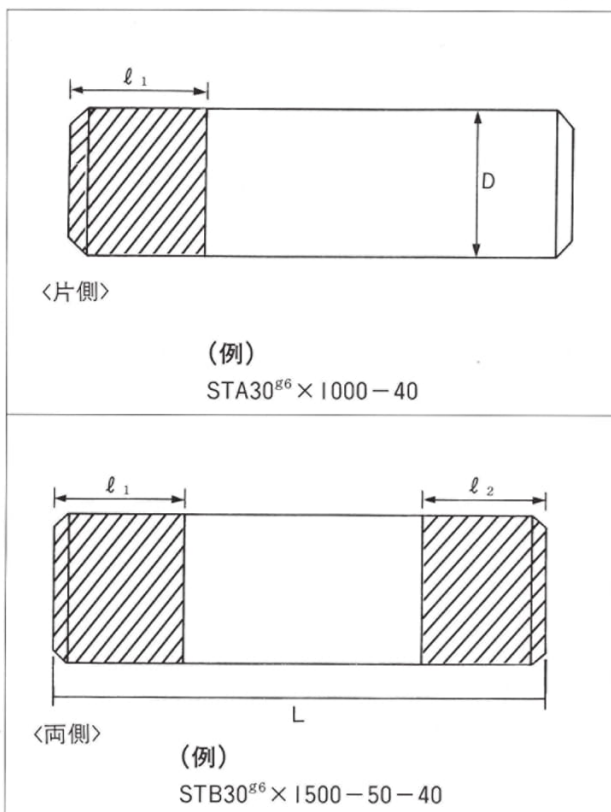


UNT ST series 焼戻シャフト



■特長

- 端末部分は焼戻されている為一般工具にて追加工が可能です。
- 短納期の要望においては対応策として最適です。
- 標準化されている為加工図面不要で記号にて選択可能である。

■発注方法

呼び番号 $D^{g6} \times L - l_1 - l_2$

ST (標準軸)

STS (ステンレス軸)

STP (パイプ軸)



ST・STS・STPシリーズ (g⁶公差) 焼戻シャフト標準寸法表

軸 径 (mm)	外径寸法 公差	軸 長 (mm)																		パイプ 内径
		100	150	200	250	300	350	400	450	500	600	700	800	900	1000	1200	1500	1800	2000	
6	-0.005	○	○	○	○	○	○	○												
8		○	○	○	○	○	○	○	○											
10	-0.014	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					4
12	-0.006	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					6
13		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					7
16	-0.017	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			10
20	-0.007	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	14
25				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	16
30	-0.020			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	17
35	-0.009				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	19
40	-0.025					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	20

注意) ※ 焼戻の標準軸は全長 L 寸法がプラス 1 ~ 2 mm 程度にて面取後の納入となります。

※ 焼戻部分 l_1 、 l_2 においては軸径の 2 D 以下となります。

※ 焼戻部分 l_1 、 l_2 においては指定寸法よりプラス 10 mm 前後程度焼が戻ります。

※ 焼戻部分の表面 l_1 、 l_2 は後処理していない為黒色となっております。